



# 未来を創る学びの実現を目指して

(長崎県立高等学校の再編整備に係る大綱)

令和8年6月

長崎県教育委員会

## 長崎の子どもたちへのメッセージ

今、みなさんの目の前には、大きく変わり続ける社会があります。  
AIやデジタルの進化の中で、「どんな力が必要だろう」「どんな未来を生きるのだろう」と考えることもあるでしょう。

県教育委員会は、みなさん一人ひとりが自分の「好き」や「ワクワク」から未来を描けるよう、新たな高校の学びを進めています。

これからの県立高校では、

- 自分で問い、仲間と考え挑戦する学び
- 興味に合わせて学びを選べる柔軟な仕組み
- ICTや遠隔授業で広がる学びのチャンス
- 大学や企業、地域とつながる本物の体験 を大切にしていきます。

長崎には、全国に誇れる自然や歴史、人のつながりがあります。

私たちは、みなさんが「ここで学びたい」と思える場を全力で創生します。

長崎県教育委員会教育長

前川 謙介



長崎県立高校のこれからの学び

長崎県の特徴を活かした魅力ある高校教育を創生します！

～未来を創る学びの実現を目指して～

## 背景

- (1) 社会変化に対応した教育内容の充実の必要性
- (2) 少子化の進行と学校規模の縮小(15年後には中学卒業者が約4割減少)
- (3) 地域間格差(特に離島・半島地域)と学習機会の確保

## 高校教育の推進内容

### 1 すべての生徒が「自己の在り方・生き方」を主体的に考え、多様な学びと社会参画を実現できる魅力ある新しい県立高校の在り方

#### (1) 特色ある教育

色んな学科の枠を越えて、科学・技術・芸術やICTを組み合わせながら学びます。そして、地域や社会の問題を自分で考えて解決できる力を身につけ、自分の「好き」を見つけて深める高校の学びを目指します。



#### (2) 個別最適な学び

オンライン授業やICTを活用して、住んでいる場所に関係なく学べる機会を増やします。また、学校に来る方法や通い方にも工夫をして、一人ひとりに合った学び方ができるようにします。



#### (3) 学校外の機関との連携

大学などと協力して、外部の先生や専門家の知識を取り入れながら、探究学習をより深いものにします。また、大学の授業を受ける仕組みなどを作り、学校だけでなく県全体でいろいろな学びのチャンスを広げていきます。

### 2 社会や地域の期待に応える特色ある再編整備の方向性

#### (1) 学校数と学校規模

地域の特徴や将来のことを考えて、高校の数など学校の在り方を見直していきます。また、地域と協力しながら、小さな学校でもその学校ならではの特色ある学びを大切にしていきます。



#### (2) 地域の方々と連携した教育

地域の人たちや市町、企業などと協力して、学びの効果を大切にしながら、高校の魅力を高め、地域を元気にしていきます。また、学校と地域をつなぐ人(コーディネーター)を置くなど、色々な学校外の人が続けて関わる仕組みを整えます。



#### (3) 多様な資質・能力の育成

一人ひとりにあった学び方を実現し、様々な力を伸ばしていきます。また、地域の歴史や特徴を生かしながら、専門の高校や学科の学びをよりレベルアップさせて、新しい学びの場を整え、理科や数学が得意な人、地域の産業やまちづくりを支える人を育てます。

### 3 特色ある教育を可能にする教育環境整備の在り方

#### (1) 教職員のスキルアップと多様な人材の活用

研修(先生の勉強の機会)を増やして、先生たちの考え方や意識をよりよくしていきます。また、専門の人を配置することで、先生たちが知識やスキルをさらに高められる仕組みをつくります。



#### (2) 再編後の支援体制(スクールバスの運行などの通学支援、交通費補助等)

離島や半島の地域では、電車やバスが少ないなど、学校に通うことが大変だという人もいます。そのため、関係する団体と協力して通学をサポートしたり、寮を整えたりして、生徒や家族が安心して生活できる環境をつくります。



#### (3) 魅力ある学校施設の整備(地域連携スペース、企業Lab、魅力ある図書館など)

自分から進んで学んだり、社会に関わったりできる力を育てるために、みんなで協力して学ぶ活動や調べ学習がしやすい環境・設備を整えます。

# 未来を創る学びの例①

## 学科横断型イノベーション教育のビジョン

### 学びの核心：学科横断型連携

普通・農業・工業・商業・水産・家政・福祉・情報等の学科がそれぞれ専門知識を共有し、一つのことに取り組めます。

地域の活力を生み出すエンジンへ  
目指す出口：地域を創る人材の育成

地理的制約を超えた学び  
(ハイブリッド型)

オンラインと対面を融合させ、離島や半島地域を含むすべての生徒が多様な教育を受けられることができます。

外部人材の活用と  
教員のウェルビーイング

社会人講師などの外部人材を積極的に活用することで、教育の質を高めると同時に、教職員が教育の本質に専念できる環境を整えます。

学びのリ・デザイン

生徒一人ひとりの興味、関心や希望に応じて既存の枠組みにとらわれず、学びを自ら組み立てる仕組みを構築します。



社会とつながる開かれた学び  
大学・研究機関、国内外の企業、地元自治体と連携し、先端技術(DK)やマーケティングを取り入れた実践的な学びを導入します。

地域資源を学びのフィールドに  
教育の土台：地域の豊かな資源  
地域の「産業」「食」「文化」「自然」等を活用した実社会に根差した教育を展開します。

地域資源

## 未来を創る学びの例②

# STEAM教育のビジョン

